夕刊
いわき民報
発行所
平市田町 電176 381 1222
いわき民報社
編集兼発行人印刷人 田原 登

針はオ…ン
ミシンはツガミ
月賦現金販賣
鈴木ミシン商會
平市白銀町電一〇九八

活潑な質問戰展開

定例市會 本會議開く

平市八月定例市会二日目は三日午前十時十五分本会議再開、前回本会議で残つた提出議案に就き伊藤助役から説明あり、提出議案の総括的質問に入つたが、大嶺（庫）議員から庶民住宅問題、諸橋議員から商工行政問題、強口議員から平衡交付金問題等大要次の様な質問戦が終始活発に展開され午後一時一日休議、午後一時四十分再開した、傍聴席は三十名で蓮沼県会議長の顔もみえていた

大嶺（庫）氏　二十五年度の庶民住宅十戸分は二月十日までの契約と思うが建設期限の遅れたのはどうしたワケか、請負人との契約はどうなつている

強口氏　市当局説明の前に請負人として尽力した積りだが資材入手困難な為で今では準備も整つたので急いでいる

大塚課長　現在では建具の取付けも出来ているので九月十日までには完成の見込み

大嶺（庫）氏　建設の遅れたわけはその日から家賃六百円ずゝとつても現在まで、四万二千円位の違約損害金をとつてもよいわけだがその場合の契約はしてなかつたか、してなければ今後を考え市条例で厳格に決めてゆくべきだ

大塚課長　それは決めなかつた

強口議員　国庫補助でやる庶民住宅は市負担半分となるので設計も型通りとなり一杯一杯の仕事となるから入札の場合も相当犠牲もあり過怠金をとるとなれば請負人もなくなるだろう

小野（栄）氏　NHKに土地を無償貸付けるというが渡日したアメリカの野球団が日本から放送料をとるというのに、幾分でも貸付金をとるべきだ

諸橋氏　更生予算には商工費が商工課長会議の旅費だけ将来の商工平市発展の為、観光事業や工場誘致といつた点に力を入れてもらいたい、国体誘致にも力を入れている様だから平市案内のリーフレットも出すべきだ

市長　いずれが緩急かいずれが是非か毎日の課長の集まる昼飯会にも諮つて研究しているが今後充分考えてゆきたい

山野辺商工課長　工場誘致、観光事業にしても科学的調査によらねばならず、商工事業は土木事業等とも相俟つており基礎調査もなく漠然とした行き方は出来ない、平市案内のリーフレットは目下研究中で次回に提案したい

大嶺（庫）氏　講和会議を記して各地で行事を樹てゝいるが旧新川は前市長時代埋立てゝ利用する計画だつたが現在復興事務所では緑地帯にすべく工事中なので、こゝに記念の為植樹したいと思う、工場誘致にしろ条件があるのでこの様なことは市、議会、市民一体となつて総合的な運動から求めてゆくべきと思う

強口議員　平衡交付金が二千二百五十万円となつているがこの見透しに確心があるか、繰越金が五百三十六万余円もあるがこんなに多くては交付金を受けるのに支障ないか、特別平衡交付金を頂くのに県との政治的運動はどうなつているか

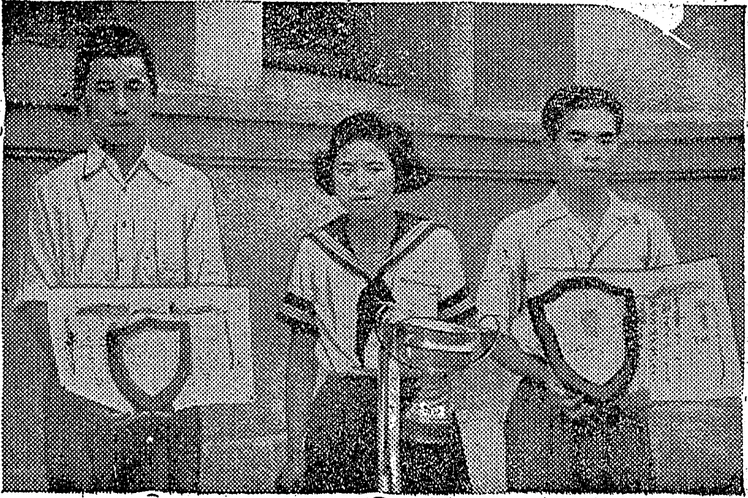
佐藤部長　去る二十五日県で本年度分平衡交付金の打合せがあつたが、これによると『前年と同額か』『少し上廻る』ということだつたのでこれを計上したワケだ、特別平衡交付金は県で配分するのでそこには採量もあることだから市出身の県議の世話にあずかりたいと考えている

強口議員　助役代理をつとめた山野辺商工課長に前回の交付金を受ける際の模様をきゝたい

—山野辺商工課長　特別平衡交付金にしろ科学的調査を基礎としているのでこれが大切なワケで政治的運動をどうのこうのとは私から言えない

鈴木（政）議員　農業委員の手当が前の農調委、改良委員より少く半分位だが—

助役　予算には八カ月分だけしか計上されていないので少い様にとれるが前と同じ手当となつている



郷土軍が二連覇

縣連青体育大會終る

東口杯争奪第五回県連青体育大会は二日午前八時から新装成つた石川町綜合グランドに県下各地区代表五百余名を集めて盛大に挙行されたが、石城陸上軍の敢斗目覚ましく各種目に好記録を樹立し綜合得点では第二位耶麻郡を三十点引離し七十二点を挙げて輝やく二連覇を遂げた、優勝種目次の通り

▼男子、三段跳、阿部計、13米30、八百米、小形清実、2分5秒2（大会新）八百リレー、（佐藤、高萩、児玉、芳賀）1分46秒6

▼女子、百米、鵜沼サク子13秒9（大会タイ）二百米、鵜沼サク子、28秒8（大会新）

鈴木ゆきえ、鈴木三郎の 兩君輝く優勝

法大主催 辯論大會の審査結果

既報＝一日平市公会堂で挙行された第一回平市、石城、双葉両郡高校青年団合同弁論大会は審査の結果高校の部一等鈴木ゆきえ（磐農）—法政大学杯授与—青年の部一等鈴木三郎（国鉄労組平支部）—本社社長楯—を授与され優勝した　成績次の通り

◇高校の部

一等『世界を動かすもの』鈴木ゆきえ（磐農）二等『青年よ立て』鵞威和雄（小名浜高）—石城双葉町村長会楯—三等『日本民主主義の反省』佐藤東（平工商）努力賞『嵐の中に立つ学生』鈴木毅弘（平工商）

◇青年の部

一等『仕事は勤めでなく仕事である』鈴木三郎（国鉄）二等『明るき社会建設の第一歩』木田強（大野村青年団）三等『青少年の不良防止』木村房夫（常磐炭鉱労組）（写真は右から鈴木三郎、鈴木ゆきえ、鵞威和雄の三君）

金曜日も休電

電力事情更に悪化

東北電力平営業所では電力事情が悪化の一歩をたどつていくので毎週水曜日の休電日以外に更に金曜日も午前八時から午後六時までの十時間停電を実施することになつた、この分で雨が二、三日降らなければ最悪な状態に至るので古河好間の火力発電から三万七千キロワツト時、日和田から二十万キロワツト時を受電して平管内発電力の七十万キロワツト時に追加して電力使用負荷八十五万キロワツト時に辛うじて間に合せている、同所では雨が降らなくては商売にならぬとこぼしており、この電力危機は十年来のことで、損失は平管内だけでも三億円といつている

内郷廿二日に住民投票

内郷町選挙管理委員会は一日午後三時から開き住民投票に就き審議した結果来る二十二日に執行することに決定

運動會日割

内郷町の

内郷町内小中学校運動会日程次の通り

▼内町小三十日▼高坂小十五日▼宮小三十日（予定）▼御厩小（済）▼一中二十三日▼二中二十三日

無情な妻を捜して三千里

原爆被害者平市署へ捜査願い

長崎で原爆の為罹災者となつた為そうこうの妻は同じ職場の男と情を通じ挙句の果に汗水流して貯めた十万円を持つて子供二人を連れて情夫と手に手をとつて逃げられてしまつた男が妻を尋ねて三千里はるばる鹿児島からやつてきて二日朝平市署に捜索願を出した—鹿児島市鍛冶町自動車運搬係川上芳明（四五）さんは兵隊で長崎に服務中原爆で罹災者となり終戦後は自動車の運搬係をして働いていたが妻の君江（三九）は何時か罹災者の夫に不満を抱き同じ職場の渡辺保一（四〇）と人目を忍ぶ仲となりとうとう去月二十五日の夜娘の敏子（一〇）さんと義江（五つ）ちゃんを連れて川上さんの虎の子十万円を持ち出して鹿児島を逃げ出したものでその後平市桜町元大工渡辺保太郎さん方に立廻つたらしいと聞いてはるばる尋ねてきたもので、平市署でも気の毒だと署員は同情、全力をあげて捜査中である

採炭夫が重傷

一日午後七時半ころ好間村古河好間炭鉱南坑で炭車が逸走、作業中の採炭夫志賀一雄さん（三七）は頭部顔面に全治一カ月の重傷を負つた

また平四倉間 電話線盗難

三日朝三時ころ平市神谷字塩地内の東北電力平営業所専用の平—四倉間電話線三百二十米（一万円相当）を切断され盗まれた

電線また盗難

夏井村字菅波地内の東北電力会社管理の配電線三・二ミリのもの約十キロ四千四百円相当が三十日午後十時から同十二時ころの間に切断盗まれた

磐女高に賊

二日午後十一時から翌朝八時までの間に平市桜町五磐女高に賊が侵入、物理室から一米四方鉛板一枚（二千円相当）を盗まれた、同校は去月二十七日にも鉛板、トランス、真空管などを盗まれたばかりだつた

天気予報

三日

【今晩】西よりの風晴一時曇所により小雨【明日】北西の風日中一時南の風晴れたり曇つたり朝夕涼しい、海上は西の風一時やゝ強く多少波立つが大体おだやか

女子事務員募集
◇資格＝新制高校卒或は旧制中学校卒にて算盤の堪能なるもの◇履歴書持参本人来所のこと
平市紺屋町十八
福島県無尽平支店

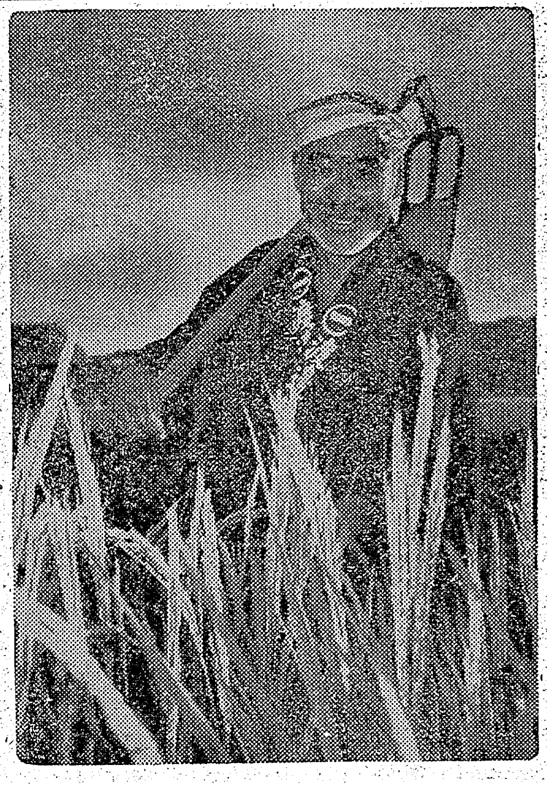
是非御来店御批評の程を
九月七日より五日間
於階上
今秋の新作品!!五大問屋の協力による
京呉服展示即賣會
振袖、留袖、御召、錦紗小紋、名古屋袋帯などあらゆる高級品
平市三
三井呉服店
電話二八四・二二四八番

生ビール
入荷致しました
毎日午後三時半ヨリ
マル井
平市本町通り

常陽銀行小名濱支店新築落成

常陽銀行小名濱支店
建設工事施行者
内田建設株式會社
社長 内田岩雄
小名浜町弁天 電話四六八番

御挨拶
久しく狭隘の為御不便をかけて参りましたが今回内田建設株式会社の御努力と皆様の御支援とにより新店舗の落成を見ましたことは私の生涯を通じて特筆大書せねばならぬ一事で厚く御礼申上げます
お蔭を以て行運益々隆昌を極め常陽の地位は地方銀行の儀たるものが御座いますこゝに本日の新営業所開設に当り倍旧の御引立と特段の御後援を願つて止みません
昭和廿六年九月三日
新営業所 小名濱町本町三番地 電話三〇三番
常陽銀行小名濱支店
支店長 高野英太郎



二百十日が無事に経過し農民ホツと一息

千四、五百年前の前例ない冠發掘

錦町の古墳調査の結果

石城郡錦町立錦小学校成田克俊教諭は昨年十一月梅宮茂県社会教育課主事の指導と県学生考古学会、錦小中学校の協力で同町大字中田字五十石地内の古墳の再調査を行なつたが、長さ五米、巾一・七米高さ二米の県内まれにみる大きな石室の中から全国にも前例のない金銅製飾具が出土したので錦町では第二次調査を八月廿日から明治大学後藤守一教授の指導で錦町永山惣太郎社会教育課主事、錦小学校鵜沼忠晃教務主任、同成田克俊教諭が調査員となり九月一日迄三日間に亘つて行なわれた、同古墳は直径約二十八米、高さ約三米のもので、この中央に石室があり、この中より人体十一体をはじめ、金銅製耳輪、骨ぞく、定規型骨器須恵器、けい甲などが出土したがこの石室は西歴六世紀の後半より七世紀のはじめにかけて作られ当地方きつての豪族一家の墳墓である事が推定されて居る、問題の金銅製飾具は銅板に金メツキを施してあり、周囲にから草模様が彫られ、全体がタガネで色々な形に抜かれた立派なもので、縁にはくぎ打ちの穴のようなものがあり、これについて後藤教授は『全国に[illegible]い未だ例をみない珍らしいだが冠の装飾具（立上り金具）と思われる』といつている、冠というのは帽子のようにすつぽり頭にかぶるものでなく鉢巻をしているその鉢巻に金銅製のものを飾りにつけていたのだろうと後藤教授は説明している、かんむりは関東地方に二つ出土し東北地方にはいまだ一つも出土してないのでこれが最初になるものだが、古墳時代の男子は頭にかぶりものをかぶつて居る事は磐高史学研究会が七回に亘つて熱心に調査している高久村神谷作古墳より出土した、はに輪をみてもうなずけるものである、この種類のかんむりは日本にはじめて出土したものであり、日本の文化史上の一頁を飾る事はいうまでもないので同調査の結果発表に期待される、又定規型骨器（仮称）も出土しているがこれも全国に例もなく名称用途不明であるが巾三ｾﾝ、長さ三十ｾﾝの鹿骨を三十ｾﾝの定規のような型につくつたもので、この定規型骨器には十三という文字が彫られてある、古墳より文字の書いてあるものが出土したというのは東北で始めてであり東北地方での一ばん古い文字である処から注目をあびている

永山主事談＝古墳時代といつても飛鳥時代に入つて居ると思われるが立派な出土品です、町としては文化財保護法により文化財発見届経過報告書を提出して居りすが貴重な遺蹟なので文化財としての指定をまつて町としては大規模に調査団を作り調査し墳丘の周りには柵を作り電燈を入れ古代文化研究の資料としたいと思つている

小名濱町會終る

公民館建築など決議

（既報）三十一日開いた小名浜定例町会は午前に引続き午後零時半から再開、直ちに議案審議に入り保育所保育料徴収条例の一部改正で（最低百円ー最高六百円で七級別に区分）湯本町外二十八カ町村公平委員会規約の設定、公共職安所小名浜分室備品寄附、土地買收（同町なぎさ地五八六七坪を製塩工場敷地として買收）町有財産寄附（福島法務局小名浜出張所建設敷地として同町大字岡小名字京塚地内三百坪）の五件を原案通り可決、続いて協議案常磐炭鉱会社より提出されて居る石炭試掘願（江名町大字下神白ー泉村大下川地内の小名浜沿岸百万坪）について公益上支障があるかどうか県経済部長から照会があつたのに対し協議した結果、採掘の為地上の建設物（防波堤の如きもの）に異変がないことを条件として同意することに決め、県罹災救助基金協議会設置に対し九万八千円、福島法務局小名浜出張所建築費として二十万円寄附すること、同町公民館建築予算額三百五十三万五千円をそれぐ原案通り可決した、なお冷凍、冷蔵工場建設促進委員に林平、馬上喜一、立花秀吉、藤社大一、飯塚勝、市制準備委員に菅原勲、西丸猛、金沢勉、木田谷平橋本佐多寿、小松勇吉、小林仁一郎、立花秀吉、選挙管理委員補充員に小島源一郎、岡山武、馬上幸男、中野稍善の諸氏を選任午後五時閉会した

スクエアダンス

八日講習會

平市連合青年会ではスクエアダンス講習会を八日午前九時から午後三時まで平第二小講堂に開く、講師はレクリ協会滝川保夫氏ら数名講習は無料

募集
旅館座敷　**女中**さん　二名
当地方一流旅館
年令25才以上の方　保証人を要す
姓名在社（36）

日光旅行

十八九日に

国鉄平営業所日本交通公社主催の『秋の日光東照宮、奥日光、湯本温泉巡り一泊二日団体臨時列車』は来る十八、九の両日平駅から二本増発する、今年最後の催しで会社、工場の勤務者を対照として設けたもの、要領は次の通りで申込は最寄の各駅、平市大丸百貨店内日本交通公社、国鉄平営業所へ十五日まで▼汽車、バス、電車、宿泊料金費用平から二千三百四十六円▼募集人員は一列車五百名▼平発は午前五時

早くも年賀はがき

平局の割當卅一万枚

県下郵便局長会議は去月二十八日福島市で開き二十七年度お年玉年賀はがき売捌きについて協議した結果、発売は十一月十五日から明年一月十日まで、平局売捌き目標は三十一万三千二百枚（昨年より一割減一人当り三・六枚の配当）東北地方では配当率が一番高く、湯本局は十万八千四百枚、小名浜局は十四万三千八百枚の割当となつた、今度のはがきの切手の模様はやつこダコの意匠で一枚三円だが普通はがきの値上りの如何によつて料金も左右される、なお平局の前年度取扱いは売捌き三十七万八千三百枚で共同募金委員会への寄附金は二十一万三千三百九十三円日本赤十字社への寄附は七万千百三十一円で来る十月の『赤い羽根』共同募金目標額へ繰込まれる

供麥内郷で完遂

内郷町では三十日麦の供出割当六百十八俵を完遂泉村に次ぎ郡下第二位

傳染病▼磐崎村上湯長谷学長倉笠原賢一（一）内郷町白水字川平森友義男（一〇）好間村上好間字忽滑善村トモ子（四）同ノブ子（七）勿来町白米字林中大浦朝子（四）赤井村字反町平松明雄（三七）の六名は一日疑似赤痢で隔離▼内郷町白水字入山六七森友義男（一〇）ちやんは三十一日赤痢で隔離▼勿来町酒井字出蔵千葉徳昭（三）同町白米園部静子（三）同小松八十（五七）の三名は三十日赤痢で隔離

〝石城梨〟規格を統一

六日平窪で査定會

石城梨の規格査定会は来る六日午前十時から平市平窪[illegible]部落平市果樹組合で行う、査定は県果樹園芸協会から査定に来平するが従来の石城梨は個々で任意規格で出荷していたが、本年度から市場へ売出される場合に規格を統一して良質梨の宣伝に努めることになつた

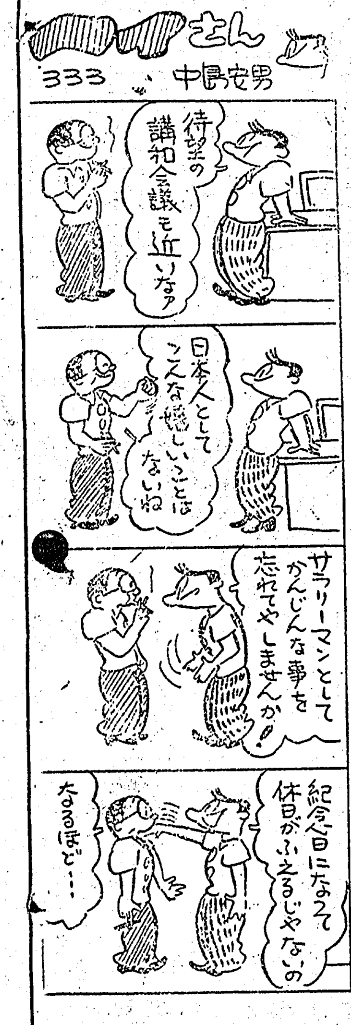
諸橋會長時代

十年前の磐城文協

（下）高木稲水

諸橋敬一郎さんは戦時中の翼賛壮年団長として追放になつたのであるとの事だが文協発足当時からの委員であり発会式に呼んだ講師大宅壮一氏は諸橋さんが在京の松野尾さんを通じて交渉してくれたものである。思想的にも時代の先駆者としての道を歩んでおり平市における代表的文化人である山崎忠兵衛さんは県翼賛壮年団総務が追放該当になつたとの事であるが第二回の委員改組あたりで委員に祭りあげられたのではないかと記憶する十七年十一月廿二日に文協が催した新穀感謝祭には観世が『忠盛』を喜多が『小鍛冶』をやり観世に上田耕作さん喜多に山崎さんが出られた申す迄もなくお二人は謡曲の平市における大先生である。山崎さんは戦時中平北区統制組合専務理事市警防団副団長等をなされ、読書の範囲も広く釜屋系統の代表的文化人諸橋さんと並んで塩屋直系の文化人代表といえる

追放解除の人々の中にも物の用に足りない人も少くない。しかしこの二人は文協関係者だからという点を割引して見ても円熟した年齢学殖家柄からいつて平市将来の黒馬（ダークホース）といえようといや平市というよりも福島県の人物として時代の脚光をあびる可能性も多い我々は多大の興味と期待とを以つて今後のお二人のゆく道を見守つておる。御自愛を願いたい。


さん
333　中島安男
待望の講和会議も近いなア
日本人としてこんな嬉しいことはないね
サラリーマンとしてかんじんな事を忘れてやしませんか！
紀念日になつて休日がふえるじやないの
なるほど…

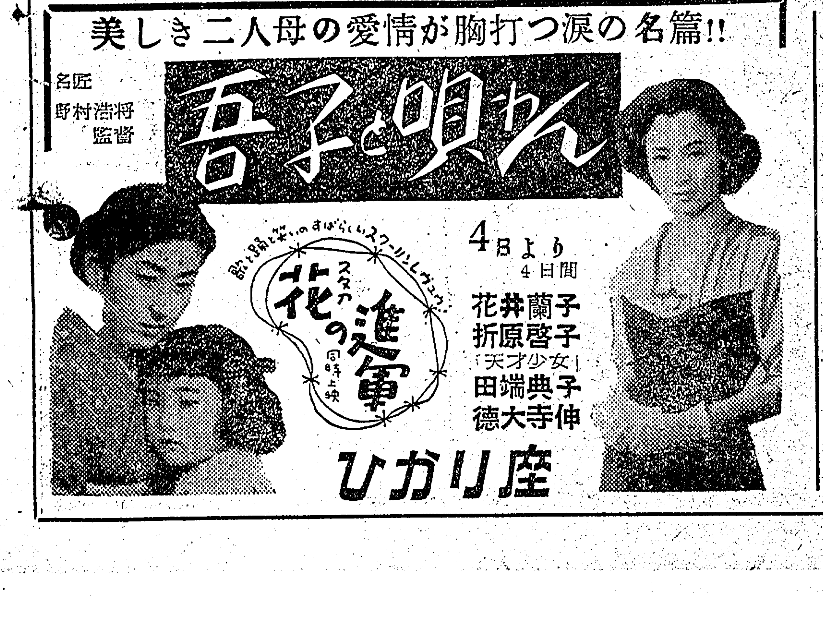
磐城文化協会は発足以来十一年目になるが今なお連綿として毎月十六日に例会を開いており今では古典的存在となつている。その十年間に中心となる人が変るにつれて文協の性格も変つて来ているも世人が今の文協に昔の文協のように仕事をしろと注文するならそれは無理である当時の文協の人々は今では皆年も年であり各方面で市の表面に出て来ており、自分の仕事もいそがしくなつて来ているしかし来春あたり文協発足十周年記念の催物を考えてもよかろう。

ローカル　JOCP ラジオ JOHQ　平放送（4日）
後[illegible]　県政の窓『公民館と本棚』県社教課坂下誠、二本松公民館長方野幸平
後[illegible]　池ノ台演芸場『尺八と小唄』

秋冬向 背廣とづぼん
秋冬向優秀格安品各種取揃
ホかや　平三　電203

御好評！御引立に報い引續き9月9日迄
夏物一掃賣出し
綿　白生地　夜具地　裏地　その他特価提供
何卒御来店願います
平二丁目　吉田屋呉服店

期末決算9月1日ヨリ…9月30日マデ
大バーゲンセール
セール中の催し物
◉ 夜具地大會
夜具地豊富に取揃えましたから御一覧下さいませ
◉ 夏、冬残品處分の市
夏物の残品と冬物昨年の残品を処分致します
◉ 化粧品サヨナラセール
今度化粧品の小売を止めますのでお安くいたしまして処分いたします
常に皆様の利益を護る店　平の 大黒屋 湯本店


美しき二人母の愛情が胸打つ涙の名篇！！
名匠 野村浩将 監督
吾子と唄わん
4日より 4日間
花井蘭子
折原啓子
「天才少女」田端典子
徳大寺伸
同時上映 スタア 花の進軍
ひかり座
歌と踊と笑いのすばらしいスクリーン・レヴュウ

ホーム石鹸

募集　男子店員さん
年令十六才ヨリ十八才マデ
住込、委細面談
平市四丁目
電話二六八
山吉商店